

『スピード』と『徹底』 「V字回復経営の教科書」から。

平成29年、明けましておめでとうございます。

新年の初めに、社長に是非とも学び、身に付けてもらいたいことが、表題の著者川勝宣昭氏の「日本電産流V字回復経営の教科書」東洋経済新報社です。

- * 営業が機関車、開発も工場も総務も、営業部門の支援部署と位置付けられている。
- * 全部署が顧客を向いている。
- * 業務スピード、対顧客スピードが圧倒的に早い。
- * 全グループの全部署が、1週間に1回、月4回の月次計画のフォローをやる。等々

過去40年間に、日本電産が買収した五十数社のすべてを、一社の例外もなく、ほぼ一年以内に黒字にして蘇らせたという、とんでもない事実を、我々中小企業が活用できない訳がないのです。

企業の変革は、「人を変え、企業を変える」ことに他ならない。

そのためには、先ず、自分のリーダーシップを点検する。厳しいが社員がついてくる経営をする。人間的魅力を備えること。

次に、どんな場面でも、絶対逃げない経営をすること。世の中のせいにしない、部下のせいにしない、言い訳をしない、最終責任は100%自分がとること。

優れた会社に変えていくための3要素として。

- ① 経営者のリーダーシップと、マネジメントスタイルの確立。
部下に作戦を授けられる能力。部下からの求心力を引き出す能力。明るく強い会社を作るマネジメントスタイル。
- ② 業務革新のスキルとメソッドを持つ。
競争を寄せ付けない高い水準の業務メソッド。水準を抜く個人スキルをつける。顧客の状況、現場に応じた的を射た提案力を訓練する。
- ③ 組織カルチャー（社員のマインド）を育成する。
「訪問件数100件運動」で、小さな成功体験と、その連鎖を呼び起こす。社長のマネジメント変革で動きを加速する。「スピード」と「徹底」の実践的風土に切り替える。風通しの良いコミュニケーション。健全な競争原理の働く会社にする。

社長、平成29年のスタートです。是非、この発想、この覚悟、この行動を我が物として、素晴らしい会社経営をして参りましょう。全面的に応援します。



今月のポイント

すぐやる、必ずやる、出来るまでやる！！